北広島町公衛協

“８カ条”で脱温暖化のまちづくり

灯油やガソリン使用量の記録運動を実施

北広島町公衛協では、昨年度からの三年計画で、各地区の地域特性を生かした脱温暖化のまちづくり事業に力を入れている。この事業は、北広島町公衛協内に設置した脱温暖化委員会が企画し、年度毎の目標を設定して取り組んでいるもの。

昨年度は、町民に脱温暖化の関心を持ってもらうことを目標に、北広島町の現状把握と課題の整理を行った。

まずは、「脱温暖化わが家の取り組みアンケート」を、各地区で開催されたお祭りやイベントなどに出向いて実施した。回収したアンケートは、五百九十枚にのぼり、集計の結果、マイバッグ持参率や暖房器具の熱の有効利用状況などの現状を把握することができた。

委員会では、アンケート結果から、「暖房器具の熱は有効に使おう」「自動車は穏やかに発進させよう」など、脱温暖化を推進するための行動指針として「北広島町脱温暖化８カ条」をまとめた。

行動指針は、長期間にわたって暖房器具が使用されているなどの地域特性を考慮した取り組みとなっている。

さらに、「北広島町脱温暖化８カ条」を広くみんなに知ってもらうため、各地区で脱温暖化学習会を実施し、取り組みへの理解と実践を広く呼びかけた。

委員会で具体的に企画

二年目の今年は、モニター活動によってCO_2の削減効果を上げることを目標としている。モニター活動を通して成果を数値で表し、現状や削減効果を具体的に把握することがねらいだ。

現在、委員会では具体的な活動として「脱温暖化エコライフカード記録運動」を企画中。記録運動は、八月から二月にかけて電気・ガス・水道・灯油・ガソリンのエネルギー使用量を記録し、省エネ行動の定着をめざすものだ。

今後も、北広島町公衛協の脱温暖化のまちづくりに向けた取り組みに注目したい。

（地域支援課　馬場田真一）

「北広島町脱温暖化８カ条」（左）と脱温暖化学習会（会場：千代田）の様子（上）

ゴミュニティキャンペーン用グッズの活用を！

今年度より新たに“夏用ベスト”貸出開始

当会は、平成十三年度より公衛協の実践活動をサポートするためのＰＲ用グッズとして、ごみ減量のマスコットキャラクターを用いた〝ゴミュニティキャンペーン用グッズ〟の貸し出しを行っています。

グッズは、「はんてん（大人用・子ども用）」「のぼり」「ごみ箱」で市町、地区、学区公衛協へ貸し出しを行っており、毎年たくさんのお祭りやイベントで「はんてん」を着用し、「のぼり」を立てて、ごみの分別、ポイ捨て防止、資源回収など、公衛協の活動を効果的にＰＲするためにも活用されています。

十九年度からは当会東部支所でも貸し出しを始め、昨年度一年間で十九市町三十二地区・学区公衛協に八十一回の貸し出しを行いました。

また、貸出期間中は気温の高い日も多く、「夏にはんてんは暑い」「夏用のグッズがあるといい」などの意見や要望を受け、昨年度、試験的に導入した「夏用ベスト」を、今年度六月から本格的に貸し出します。

色は水色で、背中には健康感謝募金のマスコットキャラクター「かんきょうくん」と「けんこうさん」を用いています。

はんてん同様に貸し出しを行っていきますので、夏季のお祭りやイベントでの公衛協の活動に活用してください。

ベストは地域活動支援センターで百着、当会東部支所で五十着の貸し出しを行いますので、事前に電話などで貸し出し状況をお問い合わせのうえ、申請書を提出してください。

（地域支援課　清水貴美）

さまざまなイベントで「のぼり」「ごみ箱」を設置、「はんてん」を着用し市町・地区・学区公衛協での公衛協活動を効果的にＰＲ（右）。今後は新たに「夏用ベスト」（左）も加わり、さらなる活用が望まれる

コイヘルペスウイルス検査始動

県農林水産局より検査機関として認定

当会は、本年四月に広島県農林水産局よりコイヘルペスウイルス（ＫＨＶ）検査機関として認定を受け、「コイ疾病まん延防止対策事業」の一環として養殖ゴイを中心に検査を開始しました。当会では、ノロウイルスに続く新しいウイルス検査事業です。検査の主な時期は、水温が二十～二十五℃になる春と秋です。

検査方法は、遺伝子増幅法という遺伝子診断技術を活用した方法で、ノロウイルスやその他の病原菌検査でも利用されています。高感度で迅速な遺伝子増幅法は、平成九年に全国でも先立って導入し、今日に至っています。今では、ウイルスや細菌などの病原微生物の検査以外に、遺伝子組換え食品や食肉鑑定などの検査にも役立てています。

さて、わが国でのＫＨＶ病は、平成十五年十一月に茨城県霞ヶ浦で初めて確認され、その後、感染地域が広がり、全国で報告されるようになりました。

広島県でも平成十七年五月に最初の報告があり、以降、毎年のように河川や沼、ため池で死んでいるコイからウイルスが検出されました。広島県は全国有数のニシキゴイ生産地として知られ、広島県産の養殖ゴイの多くは、欧米を中心に東南アジアなど世界各地に輸出されています。そのためＫＨＶ病が蔓延した場合、経済的損失だけではなく、ブランド力の低下も危惧されます。

これまで広島県行政を中心に業界団体や関係者等との連携により、被害を最小限に食い止めてきた広島県ですが、今後は当会も認定検査機関として公正で確実な検査を実施し、ＫＨＶ病まん延防止に貢献して参ります。

（微生物課　和田貴臣）

検査のため、検体（錦鯉）の鰓（エラ）をチェックする

平成２０年度　公衛協専門研修（企画づくりコース）受講者募集！

公衛協の活動に『企画』は不可欠です。

企画づくりコースでは、あなたのまちづくりに対する思いや願いを具現化するため、活動メニューの考え方や企画に必要な技法の基礎などを学んでもらい、企画力を養います。

「問題点はわかっていても解決する方法がわからない」「最近活動がマンネリ化してきた」などとお考えの方は、ぜひご受講下さい。

＊詳細については、お問い合わせ下さい。

対象者：公衛協推進委員、事務局又は公衛協関係者
形　態：１泊２日（１日のみの参加は不可）
定　員：各会場１０人
参加費：無料（会場までの交通費は自己負担）
日時／会場：次のとおり

平成20年8月20日(水)～21日(木)	庄原会場／高原の家七塚
平成20年9月17日(水)～18日(木)	広島会場①／広島市三滝少年自然の家
平成20年10月15日(水)～16日(木)	福山会場／県立福山少年自然の家
平成20年11月19日(水)～20日(木)	広島会場②／広島市三滝少年自然の家

財団法人広島県環境保健協会　地域活動支援センター　電話：082（293）1512